

用語解説

AC：戴冠後（アフター・クラウニングの略。初代ジアティス皇帝の）。

アレバー：アルフハイム第2代の国王で、メアリデンの後、セレドリルの前。

アルフハイム：エルフ達の国家。

アルフハイム・タウン：アルフハイムで唯一の町らしい町。この国の大抵の非エルフの者達は、国の仕事に従事しているエルフ達と共にここに住んでいる。およそ450年前の魔法的な戦闘の結果、建設された。

BC：戴冠前（ビフォア・クラウニングの略。初代ジアティス皇帝の）。

ベルカディッツ氏族：グラントリのエルフで、本来は南方大陸が起源であり、アルフハイムとはほとんど接触がない。

ブロークン・ランド：アルフハイムから北西にある地であり、炎の雨によりひどく荒廃した。邪なシャドーエルフ達を含む多数のモンスターや獣達の故郷である。

キャノルバース：アルフハイムの森林の名前。ダロキンの人々により、この地域に名付けられた。

セレドリル：アルフハイム第3代の国王であり、メアリデンとアレバーの後、ドリアスの前。

シェバル：変身した姿が完全な馬の姿になるライカンスロープ・クリーチャーの種族である。彼らはエルヴン・ウォーホースの創造にある程度関与した。

チョッサム氏族：アルフハイムの商人。

氏族評議会：アルフハイムを統治する評議会であり、理論上は全てのアルフハイムの氏族長達により構成されるが、実際は最も重要な7氏族の氏族長達によって構成されている。この評議会全体は、王によるあらゆる主要な決定を支持せねばならない。

氏族保持者：氏族の新たな要塞を建設するために、自分の財産を使用したエルフ。彼は要塞の指揮者として、また氏族長の部下として行動する。

氏族長：エルフ氏族の族長であり、任命される地位である。氏族の繁栄に関するあらゆる最終決定は、彼または彼女によって行われる。

ダロキン：アルフハイムの周囲を完全に取り囲むように面している人間の共和国。アルフハイムとダロキンの関係は現在良好である。

ドリアス：アルフハイム第4代かつ現在の国王。彼はおよそ200年前にセレドリルの跡を継いだ。

エレンディル氏族：アルフハイムの最も偉大な職工。

エレワン氏族：グラントリのエルフ達で、本来はエレンディル氏族の一部であり、300年前に分裂してグラントリに移住した。

フェアディエル氏族：ムーアクロフトによるシルヴァン王国の征服からの避難者達であり、アルフハイムに400年前にやって来た。

森の道：彼らの祖先の流儀である、故郷に止まることを選択したエルフの実践する生活様式。

グラントリ：アルフハイムから北西の、ブロークン・ランドの向こう側にある魔主義国家。10存在する公国のうちの2つがエルフ達により統治されており、その内の1つはアルフハイム出身の氏族である。

グラナルフ氏族：アルフハイムの森の住人達の氏族。

守護者：アルフハイム・タウンにおけるエルフの利害関係を確保することに責任を負うエルフ。現在の、そして唯一のこの地位の保有者はタラギン・オークブランチである。

ホーム・ツリー：エルフ達により住居として使用される巨木。家樹。

イルサンダル：炎の雨の後、森への回帰運動を奨励し、南方大陸から彼らの最初の避難所であるシルヴァン王国にエルフ達を導いた、偉大な指導者。彼がイモータルとなった時、生命の樹を創造した。

鉄木：築城と特殊な芸術の計画のためにエルフ達によって栽培された、非常に堅く弾力に富む木材。

ロング・ランナー氏族：アルフハイムのほぼ中央部に住む、孤立主義の氏族。

メアリデン：6氏族のエルフ（その他に途中で脱落した他の氏族も）をシルヴァン王国からついにはアルフハイムまで導いた、虹の小道を発見したエルフ。

メアリディル氏族：メアリデンの氏族。歴史と過去の栄光に非常に興味を持つ。

商業組合：自身の内部問題の大部分を扱い、守護者との連絡役も務める、アルフハイム・タウンの商人達の自治団体。

ムーアクロフト：デミヒューマンとモンスター達の一群を率いてシルヴァン王国に侵入し、この国を征服した人間の魔術師（CM7、生命の樹を参照せよ）。

レッド・アロー氏族：アルフハイム防衛の多くに責任を負う軍事優先主義の氏族。

ロックホーム：アルフハイムから北東にある、山に覆われたドワーフ達の故郷。

センチネル・ツリー：監視所としてエルフ達に使用される、途方もなく高い木々。見張り樹。アルフハイムの主要な木。

シャドーエルフ：ブロークン・ランドの大地の下に住むエルフの部族。炎の雨からの避難者で、数世紀も前にじめじめした坑道から自分達を救出しなかった賠償として、アルフハイムのかかなりの部分の割譲を要求している。

シルヴァン王国：はるか北西にある地で、イルサンダルが南方大陸を離れて最初にエルフ達を率いて行った場所である。400年前に、魔術師ムーアクロフトによって征服された。

樹の管理者：生命の樹を育て守っていく責任を負うエルフ。エルフ氏族の内部ではかなり重要な地位。

生命の樹：イモータルのイルサンダルの10の化身のうちの1つ、あるいはその娘樹の1つ。生命の樹は全てのエルフ氏族の活動の中心である。

ヴァイアリア氏族：カラムーコス周辺の荒野に住む、孤立したエルフ氏族。

放浪の道：冒険者のエルフが選択する生活様式。

本の道：生命の樹の健康や繁栄とは関係しない呪文の習得に集中する、エルフの魔法使いによる呪文の選択。

樹の道：樹の管理者であることに集中するエルフの魔法使いによる呪文の選択。

ウェンダー：アルフハイムから遥か北方に存在するエルフの王国。それについてはほとんど知られていないが、メアリデンと共にシルヴァン王国を去った氏族の1つによって作られた国であるかもしれない。

魔法使いの狭谷：森林の中にある、広範囲に木の生えていない場所。アルフハイム・タウンが存在する。ウィザーズ・グレン。